

# 中部労災病院を受診された、及び治療中の患者様へ

当院では下記の要領で臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	中枢神経原発悪性リンパ腫に対する R-MPV 療法及び HD-MTX 療法の有効性についての後方視的比較検討
当院の研究責任者 (所属)	名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科 助教 大岡史治 名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科 医員 山口純矢
他の研究機関および 各施設の研究責任者	名古屋第二赤十字病院 脳神経外科・部長 高須俊太郎 JA 愛知厚生連江南厚生病院 脳神経外科・部長 伊藤聡 国立病院機構名古屋医療センター・脳神経外科 大野真佐輔 中部ろうさい病院 脳神経外科・副部長 奥村衣里子
本研究の目的	名古屋大学医学部附属病院、江南厚生病院、名古屋第二赤十字病院、名古屋医療センター、中部ろうさい病院における PCNSL に対して行われてきた様々な治療法を比較し、有害事象が少なく予後を最も改善させる適切な治療法について検討する。
調査データ 該当期間	2000 年 1 月 1 日より 2020 年 5 月 31 日までに名古屋大学医学部附属病院、江南厚生病院、名古屋第二赤十字病院、名古屋医療センター、中部ろうさい病院にて治療した初発 PCNSL 症例を電子カルテの情報（基本情報、臨床経過、検査結果、病理所見や高次脳機能検査などの医学的情報および CT, MRI, PET などの画像情報）、病理標本を用いた解析による MYD88, CD79B 遺伝子異常の有無を基に後方視的検討を行う。治療後最終確認時の ADL や認知機能低下に関しては、EORTC QLQ-C30 アンケートや MMSE 認知機能検査などを用いて評価を行う。
研究の方法 (使用する試料など)	●対象となる患者さま 2000 年 1 月 1 日～2020 年 5 月 31 日に名古屋大学医学部附属病院、江南厚生病院、名古屋第二赤十字病院、名古屋医療センター、中部ろうさい病院で中枢神経悪性リンパ腫（PCNSL）に対して化学療法および放射線治療を受けられた方  ●利用する情報 情報：性別、診断時年齢、病歴、既往歴、抗がん剤治療の治療歴、病理診断結果、病理所見、MYD88 遺伝子変異、CD79B 遺伝子変異の有無、血液検査の結果、頭部 CT, 頭部 MRI, PET 検査等の結果、副作用等の発生状況、等
試料/情報の 他の研究機関への提供 およびその方法	試料は各共同研究施設にて連結可能匿名化した後、臨床情報とともに名古屋大学に送付します。同様に解析を行う共同研究施設へは連結可能匿名化された試料を送付し解析を行う。これらの整合表は研究責任者が、鍵がかかるようにパスワードにて管理されたスタンドアローンのパソコンで厳重に管理する。
個人情報の取り扱い	「匿名化」を行い、個人情報を保護する（対応表を作成する） 匿名化の方法：患者 ID（カルテ番号）、生年月日、イニシャル、病理検体番号のみを使用する。連結表の管理責任者・保管場所：研究責任者の大岡史治を管理責任者とし、名古屋大学脳神経外科医局の鍵のかかるキャビネット内で管理する。鍵の管理者は大岡史治とする。
本研究の資金源 (利益相反)	研究の資金源：運営費交付金 開示すべき利益相反はなし

お問い合わせ	独立行政法人労働者健康安全機構中部労災病院 電話：052-652-5511（代） 担当者：脳神経外科 奥村衣里子
備考	